

令和4年度東部地区道徳教育研究協議会  
春日部市立武里南小学校  
【中学年部会】

主 題 名 仲間を守るきまり  
内容項目 C 規則の尊重  
教 材 名 「よるこびはだれに」  
(彩の国の道徳「未来に生きる」)



ICT を活用した導入



タブレット端末を活用した  
学びを深める工夫



思考を深める手掛かりとなる板書

## 1 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

- 児童は進んで話し合い、自分の考えを表現していた。教師は児童の発言を大切にし、あたたかい言葉がけをしていて素晴らしい。
- 行事と関連させたアンケートは効果的であった。教材の内容と日常生活を結び付けることができた。
- 登場人物が思い悩む場面では、タブレット端末を活用し、心情メーターで視覚化したことは効果的だった。個人の考えを学級全体で共有することで、自分と友達との考えの共通点や相違点に気付くことができる。児童が表現した心情メーターの色の割合から話し合いを深めていくことができるので、効果的に活用したい。
- 「約束やきまりを守るとどんなよいことがあるか？」という発問は、多様な考えが出る場所である。きまりを守るときには、我慢するだけなのか、褒められたいから守るのか等の考えについても取り上げることで話し合いを深めることができる。



## 2 指導講評

- 約束やきまりの意義を考えさせたいという、教師の強い思いのある授業であった。
- 児童はタブレット端末を日常的に使用することが多くなっている。本教材は、情報モラルに関連して考えることができる内容である。低学年の段階から、情報モラルに関連した道徳的価値についてもしっかりと考えさせることが大切である。
- 読み聞かせをするときは、タブレット端末に資料を提示することもできる。
- 課題を提示する場合は、本時での話し合いを深めるためにも、提示するタイミングが大切である。
- 道徳ノートに考えを書く活動は、どの場面で書く活動を取り入れると効果があるのかを考え、授業を構成できるとよい。
- 生きていく上で、人と人とのつながりは大切である。道徳教育で考えさせていきたい。

